

富士市立中央病院 病院だより

第 9 号

発行：平成22年7月20日

〒417-8567 富士市高島町50

電話：0545-52-1131 FAX：0545-51-7077

E-mail：byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/

Fuji City General Hospital

病院長就任にあたって

このたび、故山田治男院長の後任として平成22年7月1日に病院長に就任いたしました。

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として市民の皆さまから期待され、山田先生が心血を注がれて運営されていたものであり、その院長職を富士市長から拝命し、重責に身の引き締まる思いであります。



私は、昭和47年に東京慈恵会医科大学を卒業、泌尿器科医師としてスタートいたしました。前職は東京慈恵会医科大学附属病院での泌尿器科医師としての診療と、感染制御科教授として細菌感染、ウイルス感染等の総合的な診断、治療と感染制御に関する研究を行ってまいりました。

公立病院である富士市立中央病院と大学病院の違いはありますが、医師の使命が変わることはなく、併せて病院長として富士市立中央病院の更なる発展のため、運営に取り組む覚悟でございます。

昨今、医師不足による診療休止や診療制限、医師の過重労働による病院離れなど、医療を取巻く環境、地域の病院運営は非常に厳しい状況となっております。

ります。

皆さまもご承知のとおり、中央病院では産婦人科診療休止の危機を経験し、山田先生、富士市長のご尽力と、市民の皆さまの力強い後押しにより浜松医科大学から産婦人科医師の派遣を受け診療体制が維持されたことにより、小児科を含めた周産期医療体制を確保することができたと伺いました。

中央病院ではこの事態に危機感を募らせ、より一層関連大学との連携を密にして医師の継続派遣を要請することを始めとして、様々な媒体をとおして医師募集情報を発信するなどの医師確保対策に努めております。今後も医療体制充実のために、様々な方策を継続実施してまいります。

また、継続的、効果的な医療の提供を行うために、地域の医療機関の皆さまとともに病診連携の密度を深め、さらに富士市全体の医療が充実するように努めてまいります。

私は富士市立中央病院のすばらしい伝統を受け継ぎながら、なお既成概念や固定観念に捉われることなく発想の転換を図り、市民の皆さまに安心と安全な医療を提供し、満足度の高い病院となるために、病院職員一人ひとりと共に精励してまいりますので、今後も、市民の皆さまのご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

病院長 小野寺 昭一

●医師の人事異動について※退任日：平成22年6月30日、就任日：平成22年7月1日

診療科	退任医師名	就任医師名	診療科	退任医師名	就任医師名
循環器内科	コソガ ツネハル 小菅 玄晴	ヤマザキ コウジ 山崎 弘二	整形外科		キジマ エイジ 木島 永二
外科	ヨシダ セイヤ 吉田 清哉	サカモト タロウ 坂本 太郎	脳神経外科	ヤナギサワ タケシ 柳澤 毅	ヤマモト ヨウヘイ 山本 洋平
	オオマチ タカヒロ 大町 貴弘	ヒラモト ユウキ 平本 悠樹	泌尿器科		オノ デラシヨウイチ 小野寺昭一
	ウチダ ヨシヒロ 内田 由寛	エノモト ヒロヤ 榎本 浩也		タシロコウジロウ 田代康次郎	モリタケ ジュン 森武 潤

各科紹介

整形外科

当院整形外科における昨年度の外来患者数は約13,000人で、夜間・休日の救急患者数は約500人、入院患者数は約12,000人で手術件数は約400件です。

当院は二次救急病院に指定されており、その関係上四肢の骨折や交通事故による多発外傷、高齢者の大腿骨頸部骨折などの診療や治療を多く行っております。また、外傷だけではなく変形性股関節症や変形性膝関節症に対する人工関節手術も積極的に行っております。

高齢者の大腿骨頸部骨折では自宅への退院がスムーズに行えるよう地域の医療機関と連携して、継続したりハビリを行っていただいております。また、人工関節手術など高額医療では、院内の医療福祉相談員(Medical Social Worker)と連携し、患者さまの負担をなるべく軽減するように努めております。頸髄症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアなどの脊椎疾患に対しては手術療法に偏ることなく、保存療法にて症状の軽快を期待できる場合は入院の上、硬膜外ブロック注射などを行っております。その他膝半月板損傷などに対する関節鏡手術も行っております。

現在、整形外科は5人の常勤スタッフが在籍し

ておりますが派遣医師が十分に確保できていないのが現状です。そのため、現在外来は紹介制にさせていただいており、受診される患者さまには大変ご不便をお掛けいたしますが、ご理解いただけますようお願いいたします。

私たちは大学と連携するなど、常に最新の知見を持って診察にあたるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

(整形外科スタッフ)



(木島医師) (篠原医師) (永井医師) (田辺医師) (久富医師)

病棟紹介 ~手術室~

手術室は病院本館3階北側にあり、外来手術から外科・心臓血管外科をはじめとする様々な手術を行っています。

手術を行っている部屋は7室あり、手術室スタッフは、看護長1名(中央材料室兼務)・副看護長1名・主任(日本看護協会手術看護認定看護師)1名・看護師23名・医療補助員5名です。

私達は、患者さまに安心して手術を受けていただくために、全身麻酔・腰椎麻酔を受ける患者さまに対して、術前訪問を行っています。そこでは、担当看護師がパンフレットを用いて手術室での流れなどを説明すると共に、患者さまからは、アレルギーの有無や既往歴についてなど情報を得ています。担当看護師が患者さまにお会いすることで、安心感を持っていただき、少しでも不安を取り除けるよう心がけています。

また手術室では、少しでも患者さまにリラックスしていただけるよう、音楽を流しています。ご自分の希望する曲を持参することも可能です。

患者さまの安全の為、入室の際には、ご本人にお名

前・血液型・手術部位を話していただき、電子カルテとネームバンドで確認を行い、患者誤認防止に努めています。場合によっては、担当医と看護師がそれぞれ確認を行うこともあります。

当院では、年間約3,000件の手術を行っています。安全で迅速な手術が行えるよう、常に緊急手術に備えた心構えを持ち、手術室看護の専門的知識と技術の向上に努めております。



(手術室スタッフ)

富士市立中央病院診療目程表

平成22年7月1日現在

診療科《部長名》		月	火	水	木	金	備考
内科 (代謝一般内科)《藤井常宏》 (呼吸器内科)《木村哲夫》 (腎臓内科)《笠井健司》	初診	宇田川	岡部	山城	福井	川浪	平野医師の診察は、午前予約のみ
		藤井	川浪	谷口	藤井	谷口	
		谷口			谷口	山城	
		木村	木村	木村	木村		
		福井	笠井	宇田川	宇田川	笠井	
神経内科		八木	森田	水野	河野	森田	《初診は完全紹介状制》 水の診察は午前9時～11時、木・金は、午後2時～4時
循環器科 (循環器内科)《三川秀文》 (心臓血管外科)《田中 圭》	初診	山崎	(交替制) 10時まで		阪本	武本 浦部	金曜日の武本医師の診察は、奇数週 金曜日の浦部医師の診察は、偶数週 《火曜日の初診受付は、午前10時まで》
		阪本	三川	三川	三川	三川	
		田中	田中		浦部	阪本	
小児科《瀬川孝昭》		瀬川 秋山 日馬	瀬川 日馬	千葉 瀬川 秋山	秋山 本木 日馬	千葉 瀬川 秋山	木曜日の本木医師の診察は午前10時30分から
外科《梶本徹也》		梶本 根木 小山	坂本 良元 藤田	梶本 根木 毛利	坂本 藤田 小山	良元 毛利 平本/榎本	金曜日の平本医師の診察は、奇数週 金曜日の榎本医師の診察は、偶数週
		田邊 篠原	永井 久富 木島	(交替制) (交替制)	永井 久富 木島	田邊 篠原	《初診は完全紹介状制。水曜日は初診のみ》 《水曜日の初診受付は、午前10時まで》
		野田	諸岡 秋山	(交替制)	野田 山本	諸岡	《水曜日は初診のみ》 火曜日の諸岡医師、木曜日の野田医師は再診のみ
形成外科《平川正彦》		平川		富田	平川	富田	《火曜日は休診日》
泌尿器科《後藤博一》		後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤	
産婦人科《窪田尚弘》	初診	窪田	平井	鈴木	原	山崎	《婦人科初診は完全紹介状制》 ←婦人科再診 ←妊婦健診
		平井	原	乙咩	窪田	鈴木	
		原	山崎	窪田	鈴木	平井/乙咩	
眼科《藤谷暢子》		藤谷 渡辺	藤谷 渡辺	藤谷 渡辺	藤谷 渡辺	藤谷 渡辺	水曜日の渡辺医師の診察は、偶数週 (但し、8月以降は休診)
耳鼻咽喉科《高柳博久》		吉田 遠藤	高柳 (交替制)	吉田 (交替制)	高柳 遠藤	(交替制)	金曜日は初診のみ
皮膚科《津嶋友央》		津嶋 青島	津嶋 青島	津嶋 青島	津嶋 青島	津嶋 青島	水曜日の津嶋医師の診察は、奇数週 水曜日の青島医師の診察は、偶数週
放射線科		(担当医)		(担当医)		(担当医)	←治療外来 《初診は完全紹介予約制》 ←診断外来 《治療外来の月・金曜日は午後、水曜日は午前》
		大平 竹永	(交替制)	(交替制)	萬 竹永	成田 竹永	
		勝山 井出 中川	勝山 井出 中川	勝山 井出 中川	勝山 井出 中川	勝山 井出 中川	
歯科口腔外科《勝山直彦》		勝山 井出 中川	勝山 井出 中川	勝山 井出 中川	勝山 井出 中川	勝山 井出 中川	川瀬医師・阿部医師の診察は、火曜日は第2週と第4週、 木曜日は第1週と第3週

※都合により、内容が異なることがあります。

『完全紹介状制』の診療科について

○神経内科・整形外科・産婦人科(婦人科のみ)・放射線科外来を初めて受診される患者さまへ

上記診療科を受診する際は、まず近隣の医療機関を受診していただき、その後、専門的な検査や入院治療を要する方は、紹介により当院を受診していただくことになります。

・紹介状を必ずお持ち下さい。

- ・紹介状をお持ちで、**予約がある**患者さまは、予約時間に診察します。
- ・紹介状をお持ちで、**予約がない**患者さまは、予約患者さまの合間に診察します。
(放射線科外来は予約が必要です。)

患者さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが、外来診療、入院患者さまの対応など、やむを得ずこのような対応をいたしますことをご理解いただきますようお願い申し上げます。

※医師の人事異動については1ページをご覧ください。



今 取り組んでいること

《「出前講座」開始～専門職員を派遣します!!～》

●病院経営課 内線2221

当院では、本年度新たに市民の皆さまに当院職員（診療放射線技師、薬剤師などの医療技術職員及び看護職員）が持つ専門的知識・技術などをご紹介するための「出前講座」をはじ

めました。この講座を通じて、市民の皆さまの医療や健康に対する意識や知識向上のためのお手伝いができればと思います。学校や会社、町内会の集まりにぜひご利用ください。

講座	利用案内冊子(当院ウェブサイト " http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/ " 参照または希望者には郵送)に記載の47のメニューから、お好みのテーマをお選びください。
開催会場と時間	開催会場は、申込者の方が手配をお願いします。 時間は、原則として月曜日から金曜日までの午後1時30分～午後9時までの2時間以内、土曜日の午前9時～午後9時までの2時間以内とさせていただきます。(ただし、祝日及び12月29日～1月3日は除きます。)
申込みができる方	原則として市内に住んでいるか、通勤・通学している人で構成され、10人以上の参加が見込まれるグループ・団体です。(学校・会社・町内会・医療施設等)
その他	講座はすべて無料です。 政治、宗教、営利活動などの会場及び催しには職員を派遣できません。講座に関する質問や意見交換は行いますが、苦情や要望などはご遠慮ください。 業務の都合などによりご希望の日程に添えない場合もありますので、予めご了承ください。
申込み方法	希望講座がありましたら、希望日の1ヶ月前までに病院経営課まで利用申請書(当院ウェブサイトよりダウンロード可または希望者には郵送)を提出してください。

※詳細は、当院ウェブサイトをご覧ください。

《「医療放射線被ばく相談窓口」を開設しました》

●中央放射線科 内線2153

本年4月より中央放射線科におきまして、「医療放射線被ばく相談窓口」を開設しています。放射線を利用した検査や放射線の被ばくに関して、不明な点や不安なことについて、無料でどなたでも相談に応じています。

相談ご希望の方は、中央放射線科受付に用意してあります申込用紙に相談内容をご記入の上、提出してください。詳細な被ばく線量を算定するために時間が必要な場合は、後日

相談日を連絡いたします。

尚、相談に使用した資料が必要な方にはコピーをお渡しすることも可能です。

放射線に関することならどんなに小さな事でもかまいませんので、お気軽にご相談してください。



《「渉外室」を設置しました》

●医事課 内線2103

本年4月より院内暴力などに対応するため、担当部署「渉外室」を設置し、警察OBを担当者として採用しました。警察OBの採用は県内の公立病院では榛原総合病院に次いで2番目で、県東部地区では初めての試みです。全国各地で院内暴力は深刻化していますが、当院も例外ではなく、年間10件程度発生しています。平日、休日を問わず、外来施設および入院病棟の巡回を行い、院内暴力発生の未然防止に努めています。トラブルが起きた際も警察への通報を含めてより早く、適切な対応をとることができるようになりました。

警察OBの職員がいることで、患者さまが安心して病院を利用でき、また医師や看護師などの医療従事者が医療に専念できれば、患者サービスの向上にも繋がると考えています。



渉外室長 加藤裕司



～こんなことをしました!! ご報告～



第25回富士シンポジウム開催

病院総務課 内線2216

6月3日(木)に、当院にて第25回富士シンポジウムが開催されました。これは、富士市立中央病院と地元の富士市医師会が協力し、医療の向上のため、医師の相互研究及び生涯教育の場として毎年開催しているものです。今回は中央病院の医師3名(循環器内科 相澤医師、耳鼻咽喉



▲富士シンポジウムの風景

科 吉田医師、皮膚科 青島医師)と医師会の医師3名(川村病院 川村統勇院長、いそえ脳神経外科クリニック 磯江士朗院長、横割皮ふ科クリニック 高橋靖幸院長)がそれぞれの専門分野において研究成果を発表し、活発な討論が行われました。

●発表内容

「胃がんの内視鏡診断と治療における最近の進歩」
「薬物乱用頭痛について」
「皮膚科におけるレーザー治療」 他



公開講座開催～口の中は大切～

病院経営課 内線2221

5月21日(金)に、当院玄関ホールにて公開講座が開催されました。3回目となる今回は、「口の中は大切」をテーマに当院医療技術科歯科衛生士が講演を行い、約60名の方が聴講しました。

口腔内を清潔に保つことが合併症の予防に繋がることや、虫歯・歯周病の大きな原因がプラーク(歯のあか)を放置することにあるなど、具体的な写真を用いながら説明しました。

また、最後に参加者からの質問に対しては、歯の模型を

使いながら分かりやすく説明しました。

今後も一般の方と当院職員と一緒に学び考える場として「公開講座」を実施する予定です。ぜひご参加ください。



歯の模型を使った説明▶



富士市民大学前期ミニカレッジ開催

病院総務課 内線2216

5月19日(水)に、富士市民大学前期ミニカレッジ「病気と身体の講座」が当院で開講され、7月14日まで毎週水曜日全9回、内科・外科・産婦人科などそれぞれのトピックスについて講座が開催されました。第1回目は、整形外科 永井素大院長職務代理者による「当院の医療の現状」と題した講演が行われ、中央病院の現在置かれている状況、故山田治男前院長の遺志を受け継いだ病院理念を実践していくことや、専門分野である骨粗鬆症の予防対策などを分かりやすく説明しました。

富士市民大学への受講は事前の申し込みが必要となります。平成22年度はすでに終了となりましたが、当院の医療について知っていただく機会となりますので、ご興味のある方は、ぜひ来年度お申し込みください。



▲前期ミニカレッジの風景



看護の日に記念行事 ～メインテーマ:看護の心をみんなの心に～

看護部 内線2208

ナイチンゲールの誕生日5月12日を記念して、「看護の日」が制定され、今年で20年目となりました。当院においても、毎年記念行事を企画し行っています。

本年度はメインテーマのもと「感動看護 支えて見せます、折れそうな心まで」をキャッチコピーに、玄関ホールにおいて、血圧測定、看護・療養・介護の相談、介護用品の展示、介護に役立つ簡易便器の作り方の紹介などを行いました。

当日は130名以上の方が参加していただき、「普段血圧を測ったことがない」「簡易便器は道路の渋滞したときや、災害時にも便利。皆に教えます。」「介護していて、ついイライラ辛く当たってしまうのが、自分で悲しい」など、いろいろな声を聞かせていただきました。

また、「看護の日」をモチーフにしたかわいらしい記念品をお配りし、大変喜んでいただけました。

私たち看護師は、専門職としてでき得る限り皆さまのお役に立てるよう今後も努力して参ります。



▲看護の日の記念行事



総合相談センター ～こんな相談を受け付けています～ 内線2046

- 看護相談(がん相談含む) ●よろず相談…患者さまとご家族さまが抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。
 - 医療安全相談…受けた医療に関して疑問や不安があるが、医師に相談しづらい、などの相談に応じます。
 - 医療福祉相談(健診含む)…患者さまの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、転院先案内、などの相談に応じます。(医療福祉相談のみ **内線2918**)
- ※場所は1階正面玄関入って、すぐ右手です。
お気軽にお声をお掛け下さい。
- 受付時間及び相談時間 月曜日～金曜日 8:30～16:30

その他の病院内の相談は…



- お薬相談
月～金 8:30～17:00 お薬渡し口右横相談室
お問い合わせ:薬剤科 **内線2126**
- 栄養相談 ※予約制です。
月～金 栄養相談室(2階循環器科外来隣り)
お問い合わせ:栄養科 **内線2146**
- 検査に関する相談・血糖自己測定器の説明
月～金 8:30～17:00 中央検査相談室(2階)
お問い合わせ:臨床検査科 **内線2267**
- フットケア相談 糖尿病の患者さまの足のケア
第2・第4水・木曜 13:30～15:30 内科外来(2階)
お問い合わせ:内科外来 **内線2285**
- 医療放射線被ばく相談
火・木曜日 午後 放射線科外来(1階)
お問い合わせ:中央放射線科 **内線2153**

各種教室のご紹介

患者さまとご家族さまを対象とした各種教室を開催しています。開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせの上、お気軽にご参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病院2階大会議室です。

- 腎臓病教室 お問い合わせ:栄養科 **内線2146**
日時:毎月第3火曜日 15:00～16:00
- ファミリークラス
お問い合わせ:産婦人科外来 **内線2337**
日時:毎月3回 13:00～15:00

出前講座のご紹介

当院職員を学校・会社・町内会の集まり・医療施設等へ派遣します。講座は全部で47メニュー、すべて無料で実施します。ぜひ、ご利用ください。

- 詳細は当院ウェブサイトまで
<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/>
お問い合わせ:病院経営課 **内線2221**

富士市立中央病院

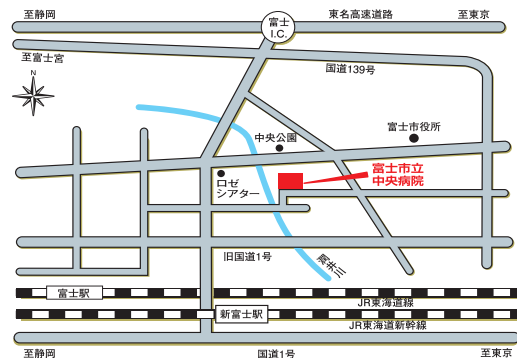
～平成22年度病院指針「あいさつから始まる今日の医療」

〒417-8567 住所:静岡県富士市高島町50
電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077
E-mail:byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

【アクセス】

富士ICより 車で10分
東海道本線富士駅より タクシーまたはバスで10分
東海道新幹線新富士駅より タクシーで10分

- 病院だよりに関するご意見ご要望は病院経営課へお願い致します。
電話:0545-52-1131 内線:2221・2222 E-mail:ch-keiei@div.city.fuji.shizuoka.jp



印鑑フェア開催中!!

～9月末まで

あなただけの印鑑をこの機会にぜひ!!
お急ぎの場合 その場で作成致します!

★ 認印・銀行印・実印 ★

(詳細は下記までお問い合わせください)

文具のヒライ

富士市松本320-4(富鷹線 東名ガード北側)

TEL61-1454 FAX 63-9907

文具・家具・ギフト商品カタログあります。配達も承ります。



少しでもお役にたきたいと、日々在宅介護サービスを提供しております。



- *身体介護(介護保険サービス)
- *生活援助(介護保険サービス)
- *通院等乗降介助(介護保険サービス)
- *患者等輸送事業(一般乗用旅客自動車運送業)

入退院時の送迎・通院など、安全で安心な外出支援をいたします。

訪問介護 **でんでん** 富士市南町7番15号

詳細につきましては、下記へお問合せください。

TEL 0545-55-3355 FAX 0545-55-3356

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。

「病院だより 第10号(10月20日発行)」に広告を掲載しませんか。お問い合わせ:病院経営課 内線2221・2222